

6/3 子どもたちが米作りを体験！

鶴田小学校 田植え体験

鶴田小学校 6年生 86人が、町内の水田で昔ながらの田植えを体験しました。

米作り体験を通して食文化や食生活に関心をもってもらうとともに、地域住民との交流を目的に町学校運営協議会が主催。当日は町農業委員やつがるにしきた農協鶴翔支店が指導を行いました。

素足で田んぼに入った児童たちは泥の感触に驚いたり、泥に足をとられながら夢中になって苗を植えていました。秋ごろには稲刈り体験も行う予定です。



昔ながらの田植えを行う児童たち



蛇口の点検を行う協会員たち

6/6 地域施設の水回りを点検

上下水道協会 水道週間ボランティア

鶴田町上下水道協会(山田松男会長)が町社会福祉協議会と協力し、依頼のあった六郷地区の高齢者世帯や公共施設などの水道設備の点検・修繕ボランティアを行いました。

同協会のボランティア活動は6月の「水道週間」に合わせて毎年行っており、この日は協会に所属する町内7業者が参加しました。

会員たちは各施設を訪れ、依頼者からの水回りの相談を受けたり、水漏れをしている蛇口を新しい蛇口を取り付けを行っていました。

6/7 イギリスの家庭料理に挑戦！

国際交流員によるイギリス料理教室

イギリス出身の国際交流員アネイスさんによるイギリス料理教室が開催されました。

料理教室を通して、町民との交流や外国の文化を知ってもらいたいとアネイスさんが企画。町公民館で開かれた料理教室には老若男女問わず11名の方が参加。アネイスさんは故郷の伝統料理「スコーン」とソーセージを使った家庭料理「トード・イン・ザ・ホール」の作り方を指導しました。

料理教室は9月にも開催予定です。後日、広報等でお知らせいたします。



参加者に料理の指導をしているアネイスさん(左)



Vol.88 (筆:毛利精悟)

ツルタラボのグラウンドを臨時キャンプ場とする企画「らぼキャン2025」。準備を着々と進めております。インターネットで予約により、執筆現在、青森ねぶた祭等の期間を中心に、毎日5組ほどのご予約をいただいています。ご予約者の約6割は「関東以西」の方です。開催期間中の夕方以降は皆さんお目当ての祭りを楽しんでいただき、朝や昼間の時間は岩木山や一面のりんご畑、鶴の舞橋など、当町周辺の自然環境を堪能していただければ嬉しく思います。ボランティアでモーニングコーヒーのサービスや、ぶどうジュースの試飲、薪やかぶトムシの販売等も予定されています。また、8月9日には予約制サウナカーも出店予定です。

期間終了後はご利用下さった皆さんからのアンケートを集計し、町の観光等への参考資料としたいと思っています。もちろん町民の参加も歓迎です！



キャンプのイメージ画像
(ツルタラボ グラウンド)



出張サウナカーは
8月9日(土)午後の予定



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



相川町長に目録を手渡す尾崎会長（左）

6/11 町の社会福祉のために寄付 一般社団法人西北労働基準協会からの寄付金

一般社団法人西北労働基準協会（尾崎行雄会長）から鶴田町へ寄付金の贈呈が行われました。

今回の寄付は鶴田町の社会福祉発展のためにと、同協会が行っている健康づくりチャリティー事業の収益を寄付金として贈呈。この日、町役場を訪れた尾崎会長は相川町長に目録を手渡しました。

贈られた寄付金は、町乳幼児の健診や虫歯予防対策費に充てられます。

6/14 各地の名物が集合！ 道の駅つるた「あるじゃ」24周年祭

道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」は開業から24周年を迎えたことを記念して、24周年祭が行われました。会場では県内外から道の駅などの30団体が、それぞれの名産品などを販売していました。

町の友好交流都市、鹿児島・さつま町のカボチャやさつま揚げ、沖縄県名護市の海ぶどうなど、各地の名物が人気を集めていました。また、先着で道の駅つるたの名物「スチューベン大福」が振る舞われました。

道の駅つるたによると2日間の来場者は約18,000人で、昨年の周年祭よりも1,500人増加したそうです。



大人気のさつま町直送のかぼちゃ



りんごの実すぐりを行う児童

6/17 子どもたちが町基幹産業を体験 鶴田小学校 りんご実すぐり体験

鶴田小学校5年生の29名が下山康祐さんの園地で、りんごの実すぐり（摘果）体験を行いました。

下山さんが講師を務めるのは今年で6年目。子どもたちは下山さんの指導の下、中心果と呼ばれる実を大きく育てるために、周りの余分な実を丁寧に摘み取っていました。

下山さんは「子どもたちがこの体験を通して地産地消などに興味をもってくれたら」と話していました。子どもたちはこの後、葉取りや収穫体験なども行う予定です。



Vol.89 (筆: 葛西あゆみ)

6月になり、暑くなってきました。いま園地では芯止めをしています、これがなかなか進みません。そんな時はラジオを止めて、好きな曲を聴いてスピードアップ！ 一眼には炭酸飲料で気分転換しています。草刈りをすればどこからともなく猫がやってきて刈ったばかりの草の上であずましそうにしている姿にほっこり。

6月11日には、東京ビッグサイトで行われた『FOOMA JAPAN』という食品製造・加工技術に関する日本最大級の展示会に、スチューベンの六次産業化にむけた情報収集とアイデアを探しに行き参りました。来場者は4日間で11万人、大変な熱気と混雑でした。

最近覚えた津軽弁は「むせば」。使い方は「なんぼむせば」。むせているわけではないですね、「持ちがいい」という意味だとか。これは、ほんのひとかけらのすじこでご飯を山盛り食べる夫に使ってみようと思います。



『FOOMA JAPAN』の会場



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。